小松の食文化（吉祥庵/料亭まつ家）

石川県小松市沿岸にある安宅の裏通りをのんびり歩いていると、「北前船」の歴史を垣間見ることができます。商船である北前船が日本海沿岸を往来し、18世紀半ばから19世紀後半にかけて安宅のような港町が大いに栄えました。これは、大阪と北海道の往来でさまざまな商品が運ばれたおかげです。北前船の航路の寄港地にあつて、莫大な富を得た船主の一族のなかには、現在、過ぎ去りし時代の雰囲気を感じられる博物館やレストランを経営する人たちもいます。ミシュランの星を獲得したまつ屋も、まさにそうした場所のひとつです。

海からすぐ近くにある（また料理長が毎日その日に揚がった魚を仕入れる地元の漁港からも徒歩ですぐのところにある）この優雅な家屋は、1891年に商船の船主である米谷家のための別荘として建てられました。後に、同家が設立し、安宅の回船業の屋台骨となる銀行の支店第1号として使用されています。現在では美しく保存された邸宅は文化財として登録されており、昼食や夕食時に訪れると、新鮮な旬の食材を使い、贅を凝らした味はもちろんのこと、芸術的な盛り付けもすばらしい絶品の懐石料理が楽しめます。

まつ家の落ち着いた部屋は、4代目の森たいじ料理長が用意し、昔の優雅なサービスで提供される料理をリラックスしてゆっくりと楽しむのに最適な場所です。カラフルな九谷焼とエレガントな輪島塗がこの料理の楽しみに色を添え、趣味の良い骨董に囲まれた空間にいて、時がゆっくりと流れていくように感じられます。食事のあとは、近くの安宅住吉神社まで足を伸ばしてみましょう。その昔、北前船の船乗りたちが航海安全を祈ったこの神社の社殿には、安宅の文化や生活で重要な役割を担った商船の絵馬が飾られています。

まつ家は車で小松空港から5分、小松駅から10分。安宅住吉神社からは徒歩わずか3分。昼・夜ともに要予約。

料亭 まつ家

〒923-0003 石川県小松市安宅町ワ-30

詳細情報はこちらまで www.matsu-ya.jp

小松市内で開催されるイベントの情報はこちらまで explorekomatsu.com